

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	呼吸吸性移動を伴う部位へのスキヤニング重粒子線治療の線量精度向上と治療時間短縮へ向けた研究
	研究目的	呼吸性移動を伴う臓器に対する重粒子線治療は、実際に照射された線量分布を検証することが難しく、照射可能な臓器の変位量を厳しく制限して安全に照射している。結果、治療時間が長くなり患者に大きな負担を強いている。そこで、2015年度から2018年度までに治療完了・予定で、かつデータ取得済みの肺・肝・膵臓を中心とした体幹部臓器の症例について本研究を実施する。実治療データを用いて、実効線量分布評価や体動データをもとにしたシミュレーション評価などの高精度な解析を実施する。過去の解析データを蓄積することで、照射時間と照射精度のトレードオフを最適化する治療計画手法、線量検証方法、日々の体内変化に即時対応可能な適応放射線治療法等の開発を目的とする。
	研究対象者	2015年4月1日から2019年3月31日までの期間に、神奈川県立がんセンターに通院又は入院した呼吸性移動のある臓器への炭素線治療を照射した悪性腫瘍患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2019年4月17日～西暦 2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(X線透視画像、治療計画データ、呼吸同期装置呼吸波形データ、炭素線照射装置ログデータ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	松崎 有華
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実 施診療科/部局等	物理工学科
	共同研究の場合、共 同研究機関および 各施設での研究責 任者	なし